

平成25年度 学校自己評価表 (計画段階 ・ 実施段階)

福岡県立 春日 高等学校長 印

学校運営計画 (4 月)		評価 (3月)				
学校運営方針	次代を担う人間として、徳育・知育・体育の調和を図り、豊かな人格を涵養するとともに、自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与する人間を育成する。					
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標				
平成21年度に導入した「春日きらめき計画」による3年間の成果と課題を踏まえ、昨年度は校務運営組織の整備等に力を入れ、各人の業務量の均衡化と各分掌の連携体制の強化に成果がみられ、超過勤務縮減にも役立った。今後は教授法に係る研究等の深化をとおして教師の授業力の更なる質的向上を図る。	生徒相互及び生徒と教師との人間的な触れ合いの中で豊かな人間性を育む。	自己指導能力の育成を図る。	A			
		集団活動におけるチームワークを重視し、信頼関係の醸成を図る。				
	授業の重要性を認識させるとともに自学自習の習慣を身につけさせ、学力の向上・深化を図る。	自他の安全を確保するための指導の継続と強化を図る。				
		心身の健康管理及び環境美化活動の充実を図る。				
人としての生き方・在り方、及び学ぶ意味について考えさせ、志をより一層高め進路の実現を図る。	授業時間数の調整及び学習環境の整備を徹底し、授業心得五行の実践を図る。	教科及び学年で協働し、意欲的・自主的な学習態度の育成を図る。	指導と評価方法の一体化を深化させ、更なる指導力の向上を図る。	授業評価や授業研究等をとおして授業の改善と充実を図る。	進路データの有効活用により、教員の進路指導力の向上を図る。	生徒の進路意識・キャリア意識の向上と、高い志の継続維持を図る。
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題		
教科指導	一時間の授業を大切にし、授業心得五行を実践させ、意欲的・自主的学習の取組を組織的に行う。	授業ガイダンスを早期に実施し、授業心得五行の徹底を全職員で行う。	A	自主性及び自己教育力の育成を念頭におき、授業ガイダンスの充実、家庭との連携により家庭学習時間の確保と出席率の向上、日常宿題の段階提示を行う。 研究授業や公開授業をとおしてICTの活用、言語活動の充実等の教授方法や教科研究を進め、授業改善を図る。		
		定点調査を行い、昨年度を上回る家庭学習時間を確保する。	B			
	生徒の指導及び評価の一体化を推し進め、教師の教科指導力の向上を図る。	年間出席率99%以上とし、本校に求められる基礎学力の定着を図る。	A			
		考査ごとに教科会議等を行い、指導と評価の一体化を図る。	A			
生徒指導	自己指導能力の育成を図る。	「春日高校五常」、「授業心得五行」を日々実践させ、自主・自律の精神を涵養する。	A	「五行」「五常」の浸透により、更に自己指導能力を向上させ、公正・公共の精神を更に高める指導を徹底する。また交通マナーを含めた自己防衛教育を推進する。 職員研修等により、さまざま発生している新たな生徒指導上の問題を共有化して組織的に取り組む。		
		集団活動におけるチームワークを重視し、信頼関係を深める。	A			
	自他の安全を確保するための指導の継続と強化を図る。	学校行事において生徒会執行部や専門委員会のリーダーシップを発揮させる。	A			
		年間を通じて部活動加入率85%以上を実現する。	B			
進路指導	進路データの有効活用により、教員の進路指導力の向上を図る。	交通安全・防犯・自己防衛に係る教育を組織的・計画的に実施する。	B	進路データの管理システムの変更に伴う有効活用及び新課程への移行に伴う入試情報の共有化を図る。 志の育成をとおして適切な勤労観を育むためキャリア教育の充実を図る。		
		指導力向上に向けた研修会の実施や入試問題研究会等への参加を積極的に行う。	A			
	生徒の進路意識・キャリア意識の向上と、高い志の継続維持を図る。	毎回、模試等の分析結果を踏まえた課題を確認し、教科目標を設定する。	B			
		効果的な外部講座・講演会・大学訪問等を企画運営し、進路に係る意識の高揚を図る。	A			
保 健	心身の健康管理及び環境美化活動を充実させる。	1年の職業・職種研究、2年の学部・学科研究及び系統的な小論文指導等を充実させる。	A			
		生徒サポート委員会、学年主任等連絡会をとおして諸課題の早期対応に努める。	A			
広報活動	地域や関係機関へ情報を発信し、本校の魅力の周知に努める。	環境委員やグリーンスタッフの活動を更に充実させ、環境整備、エコ活動を行う。	B	安心安全で整理整頓された環境での学校生活を送られるよう活動を継続する。		
		職員相互の親睦をとおして、学校行事の円滑な運営を図る。	A	HPのリニューアルにより、中学校訪問、体験入学・進路相談事業などの充実を図る。		
職員研修	授業評価や授業研究等をとおして授業の改善と充実を図る。	HPの充実や体験入学・進路相談事業の効果的な活用などの他、中学校訪問を充実させる。	A			
		生徒や公開授業時の保護者による授業アンケートを2回以上実施する。	A	授業研究や授業アンケートにより、更に授業改善や指導と評価の一体化を図る。		
保護者・同窓会等との連携	PTAや同窓会との相互理解を深め、連携して学校の発展に努める。	相互授業参観での参観者数を前年度の1割増を図る。	B			
		PTAや同窓会と連携し、総会、講演会や視察研修等の出席率の向上を図る。	A	PTAや同窓会をとおし、地域社会に対して更に開かれた学校になるよう連携を深める。		
図書活用	情報発信の場としての図書館の積極的な活用を促進させる。	保護者との相互理解の深化のため、クラス懇談の工夫等による更なる連携に努める。	B			
		読書会の充実や読み聞かせボランティアへの参加をとおしてブックマレージの登録者数の2割増を図る。	C	学習活動やキャリア教育をとおして読書活動に対する意欲を高める取組を取り入れる。		
		教科との連携を図り、関係する書籍やICT活用、視聴覚教材の利用促進を図る。	A			